

「ゼロから理解するITテクノロジー図鑑」

三津田 治夫 (監修), 武田 侑大 (イラスト), 岩崎 美苗子 (文)

単行本, 236ページ, ¥1,980-
(プレジデント社, 2020年8月6日)

本稿執筆の1週間ほど前, 東京など4都府県に3回目の緊急事態宣言が発令されました。感染拡大は勿論のこと, 2年続けての「我慢のゴールデンウィーク」となったことによる経済, ストレスやいわゆる「コロナ鬱」など, 多くの不安と課題が日本を, そして世界を覆っています。一刻も早い収束を, 心より願うばかりです。

さて一方, コロナ禍において, 先端技術の恩恵により生活の様々な部分で, 「新しい様式」, 「新しい働き方」が注目されています。ステイホーム, テレワーク, オンライン会議&学習, 各種テイクアウトや宅配サービス…。いずれの技術, ツール, サービスも導入直後の混乱, 全てが利便性に優れる訳ではないなど, 問題は皆無ではありません。しかしながら, 新型コロナウイルス感染症の影響でこういった新しい社会の仕組みが構築されたことは, 我々の生活にとって確実にプラスになることですし, 事態収束後も「これらの様式を一切利用しなくなる」「コロナ禍以前に逆戻りする」, ということは恐らくないでしょう。

しかし, 近年の科学技術の進歩はすさまじく, 「10年ひと昔」どころか, 1年後には既に過去の遺産となっているデバイスや技術も珍しくなくなってきました。先端技術を使いこなせる方がいる一方, 高齢者をはじめ先端技術に明るくない方が不利な扱いを受ける, いわゆる「テクノロジー格差」なるものが生じるなど, 新たな問題も発生しています。科学技術の進歩については賛否両論ありますが, 先端技術を使いこなす, あるいはある程度の知識が無ければ, 仕事や生活に支障が出てくるというのが現状です。

本書では先端技術に関する項目を, 見開き1ページを使って簡単な文章と図解で説明しています。取り扱っている項目は100個。加えて解説文の中では普段よく目にする略語や横文字単語も, 正式名称やルビ付きで説明されており, この点でも勉強になります。さらに, イラストが楽しくて子供でも読みやすい為, お子様がいらっしゃる会員にもお勧めです。

「テレビやニュースでよく聞く言葉だけど, 何だっけ? 今更恥ずかしくて聞けないよ…。」というとき, ありますよね? 是非, 本書で調べてみましょう!

(フロンティアフーズ株式会社 技術部 村田 真一郎)

